

## 愛西市巡回バス運行検討委員会 会議録（概要）

会 議 名	平成 30 年度 第 1 回 愛西市巡回バス運行検討委員会
開 催 日 時	平成 30 年 9 月 3 日（月）午後 2 時 00 分から午後 4 時 15 分まで
開 催 場 所	愛西市役所南館 1 階 会議室 1 - 4
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	伊藤正憲、伊藤本章、石河和子、梨本 嵩巳
協 議 事 項 等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今回の改訂について</li> <li>2. 海南病院ルートの実験運行について</li> <li>3. その他</li> </ol>
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	0 人
会 議 資 料	次第 平成 29 年度巡回バス月別乗車一覧 平成 29 年度バス停別乗降客数 平成 29 年度 1 人当たり運行経費 海南ルート乗客集計（H28）（H29） 海南ルート時刻実績
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市巡回バス運行検討委員会委員

役 職	氏 名	区 分	備 考
委員 長	伊豆原 浩二	知識経験を有する者	大学教授
委 員	橋本 清吉	高齢者	佐屋地区
〃	水野 壽里	知識経験を有する者	佐屋地区
〃	横井 正男	公募委員	佐屋地区
〃	水谷 怜	地域の実情に精通した者	立田地区
〃	伊藤 典之	高齢者	立田地区
〃	渡邊 千鶴子	知識経験を有する者	立田地区
〃	永井 初子	公募委員	立田地区
〃	中野 義光	地域の実情に精通した者	八開地区
〃	岡本 千代子	女性	八開地区
〃	服部 愛子	知識経験を有する者	八開地区
〃	福田 道雄	公募委員	八開地区
〃	鬼頭 昭子	公募委員	八開地区

事務局

氏 名	氏 名
鷲 尾 和 彦	青 木 万 亀 雄
丹 羽 弘 秋	伊 藤 靖 幸

## 審議経過

発言者	内容（概要）
事務局	<p>本日は、公私ともに何かとお忙しいところ、お出掛け頂きありがとうございます。</p> <p>それでは、ご案内の時刻になりましたので、ただ今から、平成30年度 第1回 愛西市巡回バス運行検討委員会を始めさせていただきます。</p> <p>この愛西市巡回バス運行検討委員会は、公開の会議となっています。会議開催の1時間前から10分前まで傍聴人の受付をしました結果、本日の傍聴人はありませんでした。</p> <p>それでは、委員長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>バスについてはどのようにしたら皆さんに使っていただけるのか、生活の見合う仕組みであるかどうか、バスを使用しようと思っても事前に情報がないと使用しにくい環境であります。そのようなことを踏まえて、わたしたちは愛西市の巡回バスがうまく機能しているかチェックする仕組みを作っているかなければならない。会議においても、どういう資料で何をチェックするのかをみなさんと一緒に考えていきたいと思いますので、いろいろなご意見をお願いします。</p> <p><b>1. 今回の改訂について</b></p>
事務局	<p>（事務局から平成29年度の利用実績、運行経費などの概要を説明）</p>
委員長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、何かご意見・お気づきの点がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>経費の増額は出来ないような説明があったが、見直しをしていく中でそういう結果になれば良いが、最初から増額しないというのはどうなのか。</p>
委員	<p>事務局として現状の経費の範囲内で改善するというのは、どのような方針で変更を考えているのか。</p>
事務局	<p>バス停の場所調整やルートの手回り方などについて検討し、効率的にすることにより利用しやすくなればと考えております。</p>
委員	<p>結果的にそのようなかたちになれば良いが、改善を検討していく中で便の増設ということになれば、経費の増額は避けられないのではないかと。</p>
事務局	<p>昨年の検討委員会の中でも話はありましたが、愛西市の巡回バスにおいて</p>

	<p>は福祉的要素が強いので無償運行は継続していきますが、予算については財政状況も厳しいことから、なるべく現状の予算の範囲内で改善していけるよう委員のみなさまに知恵を絞っていただきたいということです。</p>
委員	<p>海南病院ルートなどは非常に好評な意見を聞いているが、他にはどのような意見が出ているのか。</p>
事務局	<p>市に寄せられている意見としては、バス停を増やしてほしいというものが多くですが、以前の改訂の際に乗車率が低いバス停については無くした経緯がございますので、要望のあるバス停が本当に必要なものであるかなどについても委員のみなさまに検討していただければと思っています。</p>
委員	<p>今、利用率の低いバス停は減らしてきたという話だったが、人口の少ない地域は当然利用率が低くなる。バス停が減ることによりバスが利用しにくくなり、結果、人口の少ない地域はどんどんバス停が減っていくことになる。</p> <p>また、バス停が無くなったため、最寄りのバス停まで歩いていける距離ではないので週一回でも来てほしいという意見もある。そういう意見もある中で利用率だけで判断するのはどうなのか。市民にとって利用しやすいバスにしていかなければならないと思う。</p>
事務局	<p>前回はそのようなかたちでバス停を減らした経緯はあるが、同じやり方でいくというわけではないので、本当に必要なバス停だから便数を減らしてもバス停を増やすというようなやり方も含めて検討いただければと思います。</p>
委員長	<p>確かに乗降客数だけで判断するのは難しいと思います。バス停周辺にどれくらいの人口があって、そのうちのどのくらい人が利用しているかというような数字を見ながら、今回の資料から読み取れることも含めて検討していかないといけない。バス停を増やすかどうかは、地域の方のバスの使い方によって変わってくるもので、そういったことも含めて決めていく必要があります。</p>
委員	<p>車に乗れるうちはいいが、高齢化により今後は買い物などに行けなくなる人が増えてくると思う。</p>
委員	<p>前回の会議の中でもあったが、現行のルートや便数を基本にということなので今回の検討委員会の方向性としてはこれでいくとして、将来的には先ほどの話にあったようなことを検討いくとしていけばよいと思います。</p> <p>また前回の改訂により、立田・八開地区では停留所距離間が2 km以上あるところがいくつもできている。一般的に停留所距離感400mほどが徒歩圏内であると言われており、そういうことであると長くても1 km以内でない</p>

	<p>と利用したくても利用できない人ばかり増えることになる。利用者がそこま で多くないこともあり、立田・八開地区においては、中間停留所を設けても それほど時刻表に影響しないと思われますので、そういうことも含めて検討 していけばよいと思います。</p>
委員	<p>特例で途中乗車・下車というような運用はできないのか。</p>
委員	<p>ルート上であれば可能ではないか。山間部などでそのような運用している というようなことを聞いたことがある。</p>
委員	<p>フリー乗降については、山間部などの非常に交通量が少ないところであれ ば効率が良いが、このあたりでは交通事故の危険性があることと運転手への 負担が非常に高くなるため、実施するにしてもある程度場所を特定しないと いけないと思う。</p> <p>例えば、便数を減らしてバス停を細かく設けると利用しにくくなる可能性 もあるのでバランスを考えていかないといけない</p>
委員	<p>無償化を継続していくということだが、同じ税金を払っているのに使いた くても使えない人がいるというのは不公平ではないか。利用者から100円 でも払ってもらえば、ある程度の収入になると思います。</p>
委員長	<p>さまざまご意見が出ましたが、ここでどのような目的で今回の資料を配布 したのかを事務局に説明をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>バス停の利用についての現状を知ってもらうことで、増設や減少について のご意見がいただきたかったということと、運行経費については経費を知っ てもらうことでバスの便数やバス停の数について検討の材料になればとい うことで提供させていただきました。</p> <p>(資料の数字の内容について説明)</p>
委員	<p>一人当たりの利用について、人口によって利用人数に差が出ると思うが、 人口が少ない地区の八開ルートと佐織ルートにあまり差がみられないのはど のような理由が考えられるのか。</p>
事務局	<p>地区ごとのルートにはなっているが、必ずしもその地区の方だけが利用し ているわけではないということが一因になっていると思います。</p>
委員	<p>資料を見ると佐織地区に関しては、商業施設の利用が少ないことから、そ のような施設の利用を望んでおらず、老人福祉センターの利用は各地区とも 多いことがわかります。このような結果からニーズを的確に把握して、利用 促進につなげていければと考えます。今のままでいくと高齢者は増えていく</p>

	<p>が、大幅な利用者の増加にはならないと思います。</p>
委員長	<p>いろいろなご意見をいただきましたが、再来年の4月の改訂に向けての前提条件は無償ということだけでよいのですか。</p>
事務局	<p>さきほど委員の発言にありましたように、次の段階では有料化も視野に入れていくことは必要かもしれませんが、今回の検討の中では無償ということを中心に進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>いつまで無償で続けていくのか。</p>
委員長	<p>有償か無償については計画として、有料化という受益者負担をいつ議論してどの段階で決定していくのかということを決めていく必要があると思います。</p>
委員	<p>市の方針として、見直しをした結果、みなさんが希望するように細かなルートのためには、バスの台数や便数が必要なため経費が増加したから有料化にするというようなことであれば理解してもらえらると思うので、そのような方向で議論していただければと思います。</p>
委員長	<p>県内でも無償で運行しているところは少ないと思うが、無償が駄目ということではなく、なんのために無償なのかということを理解しないといけない。有償が良いとか無償が良いとかいうことではなく、地域のみなさんがどのように判断するかということになる。そのため、すべてのところが同じ条件にはならず、ある地域では自分たちで負担してバスを運行しているところもあるので、どの程度負担するのかは自分たちで考えていかないといけない。</p>
委員	<p>市役所の周辺はいろんなルートがあるが、不便な地域こそバスが必要だと思う。</p>
委員	<p>バスのルートについても改善できる場所があると思う。また、ある地域では山間部にある少数の住民の要望でもバス停を設置したという事例を聞いたので、すべての要望が把握できるわけではないが、住民が本当に必要だと思うところにはバス停が設置できるようなシステムになればよいと思う。</p>
委員	<p>地域内を細かく回るといことになれば便数が減ることになるが、ある地域では曜日によってルートを変更しているところもあって、そういうやり方であれば1日の便数を減らすことなく運行することも可能である。</p> <p>予算や時間が決められている中で、どのような選択をするのかを委員会で決めていくことになるではないか。</p>

委員長	委員会ですべての地域への情報提供や意見を把握することが難しいのであれば、どのようにして把握していったほうがよいか。
委員	以前にワークショップをやったことがあるが、地域ごとの意見もあると思うので、もう一度やってはどうか。
委員	そのワークショップの意見を反映したものが、今の運行ルートになっている。
委員長	今のルートを見て佐屋地区と佐織地区について、大幅な改善の必要があると思いますか。
委員	佐屋地区は多少の修正は必要だと思うが、概ね今のルートで良いと思います。
事務局	佐屋地区については、一部地区でこれまでバスを利用する必要がなかったような方が、高齢によりバスを利用したいとのことでバス停の設置についての要望がありましたが、佐織地区ではそのよう要望はありませんでした。立田地区では今まであったバス停が無くなったことで不便になったというご意見はありました。
委員	委員の中で集まってルートやバス停を考えて提案してはどうか。
委員	ルートごとに特性があるはずなので、現状分析をきちんとして検討していくべきで、ルートごとで集まって地域の情報を収集することも必要だと思う。
委員長	先ほどの話にもありましたように、佐屋、佐織ルートについては若干の修正を検討することとして、立田、八開ルートについては委員会の中で地域の意見を集約し、ある程度の便数を調査して検討していくということにしてはどうか。
委員	以前、事務局からバス停ごとの乗降者数のデータがあることは聞いており、区間の乗車人員はわかるはずなので、データをいただけるのであればわかる範囲で集計して次回の会議資料として提供することはできます。
委員長	立田、八開ルートだけでもバスに乗車して調査することは可能ですか。
事務局	立田、八開ルートだけということであれば可能だと思います。
委員	どこから乗ってどこに降りたというような利用状況を調査し、どうしたら利用してもらえるかを考えないといけない。便数とかバス停の数も大切なこ

委員	<p>とだが、まずは市民へバス情報を周知することで利用促進を図っていくべきではないか。</p> <p>バスのことを知らない人もいるかもしれないので、バスを利用した愛西市の散策の仕方みたいなものを広報誌に掲載すれば少しは利用者も増えるのではないか。</p>
委員長	<p>そのとおりです。バスの使い方を委員会で考え、市民へ提供していくというのも一つの方法です。</p> <p>今までのことをまとめますと、立田、八開ルートについては、事務局からデータを貰い、秋くらいにみなさんで乗車して調査し、議論をしていきましょう。</p> <p>それから、もう一つ地域ごとの高齢者の分布図があれば提供をお願いしたい。お年寄りが歩いてバス停に行ける距離は300mくらいなので、それを図面に落とすことで検討資料になってくると思います。</p> <p>そして、次回には実際にどのようにするか決めていきましょう。</p>
	<p><b>2. 海南病院ルートの試験運行について</b></p> <p>(事務局から海南病院ルートについて、これまでの経緯と今後のあり方、現状と課題などについて説明)</p>
委員長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、何かご意見・お気づきの点がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>資料によると時刻に遅れが出ているようだが、平均の時間なのか、特定の日についてのものなのか。</p>
事務局	<p>特定の日についてのものですが、週に2～3日はこのような遅れが出ています。</p>
委員	<p>以前、乗車したことがあるが、遅れについては工事などによるものや、国道に出るための渋滞が主な原因と考えられます。</p> <p>遅れに合わせて時刻表を改正するというのもいいが、無償の自主運行バスであればルートの制約もあまり受けないので、渋滞がわかっていたら迂回して解決するという方法もあるが、そのような方法は検討されたのでしょうか。</p>
事務局	<p>実は、すでに渋滞時には迂回して対応するという方法は行っており、それでも遅れが発生しているような状況となっています。</p>
委員	<p>バスが渋滞などで遅れるのは当然のことだと思うが、そんなに苦情がくる</p>



	<p>ものなのか。</p>
事務局	<p>利用される方は時間どおりにバス停で待っていますし、時期にもよりますが、恒常的に遅れが発生している状況なので、それを改善したいということになります。</p>
委員	<p>迂回していても遅れが発生しているような状況であれば、余裕のあるダイヤを設定することが利用者にとっても良いことなので、改善していただければと思います。</p> <p>また、便数は減ることになりますが、海南病院ルートに佐織庁舎と津島市民病院を加えてはどうかということも検討していただければと思います。</p>
事務局	<p>平成28年に国の事業にあわせて試験運行を実施してきたものですが、約3年を経過しましたので、このまま継続するのかどうかを検討していただきたい。利用者のアンケートでもほとんどの方が継続を望まれていますし、継続をするにも他の地区からも利用したいという意見もありますので、このままの形態でいいのかということも含めて検討していただければと思います。</p>
委員	<p>来年の4月からも継続するかということでもいいのか。ルートについての検討もあわせて行うのか。</p>
事務局	<p>説明不足で申し訳ありません。今回の海南病院ルートにつきましては、継続の可否と時刻の調整の議論をお願いします。継続していくということであればルートの検討は巡回バスと同様に再来年の4月を目標にさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>海南病院ルートについては、まわりでも好評と聞いているので、継続していくことには賛成です。</p>
委員	<p>好評であり、賛成の意見もありますので、継続を決定し、ルートなどについては今後の検討ということでもいいのではないですか。</p>
委員長	<p>基本的にはみなさん賛成ということで、便数については、なるべく時間に合ったものにするには1便減らさざるを得ないということなのでそれは仕方のないことだと思います。</p> <p>また、先ほど有償、無償という話がありましたが、無償だからルートが自由に出来るということがあります。しかし、有償にすると制約が厳しくなるため、そういう訳にはいかないのです。そういったことを理解した上でこれから考えていかないとはいけません。</p>

	<p><b>3. その他</b></p>
委員長	<p>それでは、「その他」で事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>次回ですが、2か月後くらいの10月末か11月上旬くらいを予定していますのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>それまでに委員として何かすることはありますか。</p>
事務局	<p>立田、八開地区の方の要望等を聞く機会があれば、聞いていただけると助かります。</p>
委員	<p>出来ることがあれば積極的に協力させていただきますので遠慮なく言ってください。</p>
委員長	<p>これをもちまして検討委員会を終了させていただきます。</p>